

蔵家わいん通信 9月号

2022年のワインニュース

いつも蔵家わいん通信をご拝読頂きありがとうございます。

早速ですが、2022年の世界ワインニュースを振り返ってみましょう。

ボージョレ・ヌーヴォー価格高騰!?



11月17日に販売解禁されるボジョレー・ヌーヴォー。しかし今春に勃発したウクライナ侵攻を背景に、受難の年となりそうです。コロナの影響から世界的に容器・包材など資材の需要が増加する一方、生産の停滞で供給難が発生。加えて、ロシアのウクライナ侵攻による輸送コストへの影響が少なくなく、参考小売価格が昨年比で1.3倍～2倍程上昇するというものが多くの輸入元の見立てとなっている。そんな実情から今年は例年よりも種類が絞られ、価格の値上げが予想されます。

2021年、オーストリアは夢のヴィンテージ



2021年は、「完璧なブドウから生まれる透明感溢れるワイン」という言葉に集約され、今後何年も語り継がれるであろうヴィンテージとなりました。気候の好条件が重なることで生まれるグレートヴィンテージ。主な要因として、乾燥した冬、9月以降日中は暑く夜は涼しかった、全体的に長い生育期間、絶好のコンディションで行われた収穫作業などが挙げられます。それらの恩恵を受けてエレガントな白ワイン、パワフルな赤ワインに仕上がりました。



ニュージーランド・ロゼをイギリス市場売り込み



「ニュージーランド産ロゼは斬新なスタイルを持つものが多くあり、イギリス国内の店舗でも人気を高める時期になっている」とワイン業界の間で評されており、ニールソンIQ社の調査では、ニュージーランド産ロゼは、英国内で7.2%の増加を記録し（2022年4月9までの52週間）、売り上げ額では過去2年と比べ81%増となった。世界的な売れ上げ額でも同期間にロゼは12%増となっている。季節を問わず選ばれる存在となったロゼワイン。今後ますます注目の的になるのは間違いなさそうです。



イタリアワインに巻き起こるアンフォラ革命



イタリア各地のワイナリーのセラーで、静かな革命が起きています。8000年以上前、最初のワインが造られたときに使用されたアンフォラという容器を、現代の数十にも及ぶ生産者が使用しているのです。イタリアワインを語る上で伝統や遺産は常に重要な位置を占めていますが、今回のアンフォラの使用は特に相応しいといえるでしょう。とりわけ注目を集めるフリウリの醸造家 Josko Gravner はスロヴェニアとの国境近くにある小さな村オスラヴィアにセラーを構えます。2001年、Gravner は初めてクヴェヴリで仕込んだワインを市場に出しました。現在彼は、500リットルから2500リットルまで、様々なサイズの47のアンフォラを所有しており、イタリアを代表するワインの1つとなっています。



【お問い合わせ先】和・洋酒専門店 **リカーポート蔵家**

〒194-0037 東京都町田市木曽西1-1-15 TEL: 042-793-2176 FAX: 042-793-2177

E-Mail: machida@kura-ya.com 営業時間: 9時30分～20時※日のみ19時閉店

<月曜定休日> KURAYA

